

# 感染症発生動向調査委員会報告 11月

## 今月のトピックス

RSウイルス感染症、インフルエンザは昨シーズンと同様に早く増加

感染性胃腸炎の集団発生が小学校を中心に多い

百日咳の報告数は昨年より多く、DPT接種歴のある幼児においても発生している

### 【患者定点からの情報】

市内の患者定点は、小児科定点：88か所、内科定点：57か所、眼科定点：18か所、性感染症定点：26か所、基幹(病院)定点：3か所の計192か所です。なお、小児科定点は、インフルエンザと小児の13感染症を報告します。内科定点はインフルエンザのみを報告します。従ってインフルエンザは、小児科と内科で、計145定点から報告されます。

### 平成20年 週 - 月日対照表

第43週	10月20～26日
第44週	10月27～11月2日
第45週	11月03～09日
第46週	11月10～16日
第47週	11月17～23日

平成20年10月20日から平成20年11月23日まで(平成20年第43週から第47週まで。ただし、性感染症については平成20年10月分)の横浜市感染症発生動向評価を、標記委員会において行いましたのでお知らせします。

## 全数把握の対象

### <腸管出血性大腸菌感染症>

11月の報告数は、27日現在で11例です。うち、10代の5例は集団食中毒事例でした。年齢の内訳は、10歳未満が2例、10代が5例、20代が1例、30代が2例、40代が1例でした。

### <レジオネラ症>

11月は27日現在で2例の報告がありました。1月からの報告数は30例(うち29例は肺炎型)となり、現時点で多かった昨年1年間の報告数28例を上回っています。

全国でも、第47週までの累計は809例と、すでに昨年の報告数665例を大きく上回っています。(表参照)

レジオネラ症の報告数の年別推移(2000年～2008年47週)

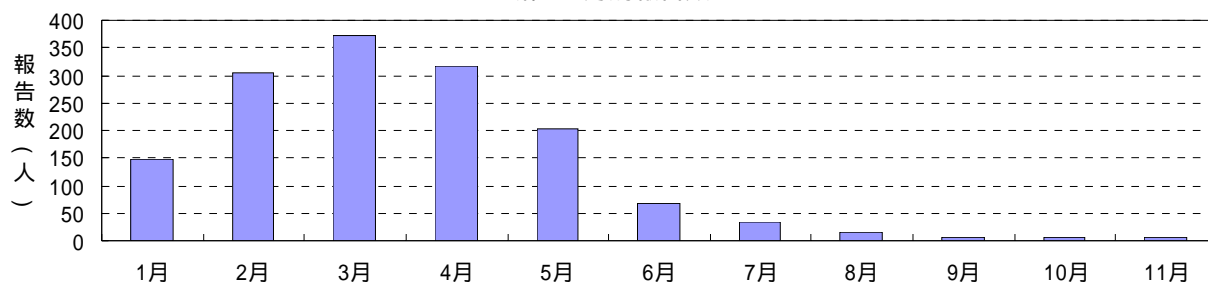
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
全国	154	86	167	146	161	281	514	665	809
神奈川県	2	2	4	6	6	19	26	43	53
横浜市(再掲)	0	0	3	2	1	8	7	28	30

### <麻疹>

1月から感染症法の5類感染症の全数把握の対象となり、診断した医師すべてに届出が義務付けられました。(国立感染症研究所ホームページ <http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html>)

横浜市では、11月27日までの累計報告数は1479例で、全国の報告数10942例の13.5%です。年齢別では、10代(50.6%)が多く、予防接種前の0歳(5.9%)にも多く発症しています。また、全体の48.4%が予防接種未接種でした。

麻疹月別報告数



2012年の麻疹排除に向けて、予防接種の徹底が最も大切です。

横浜市では、緊急対策として、未接種・未り患者への市費による予防接種(任意接種)を実施しています。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/oshirase/mr-kinkyu.html>

1歳～高校3年生に相当する年齢の未接種・未り患者は、この機会に早めに接種していただくことが重要です。

横浜市の詳細については、「横浜市における麻疹患者届出状況(2008年)」

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/measles/measles.html> をご覧ください。

## 定点把握の対象

### <インフルエンザ>

第40週に今シーズン初発のA型インフルエンザの報告があり、第41週にはB型インフルエンザの初発の報告がありました。初発の報告は、過去6年間で最も流行開始が早かった昨年と同時期です。

これまでに、西、中、南以外の15区から報告があり、区によってはすでに流行開始の目安となる定点あたり「1.0」を越えています。市全体の第47週の定点あたり報告数は0.49でした。これから流行期に入っていくと思われるので注意が必要です。神奈川県(横浜、川崎を除く)は0.43、川崎市は0.13、全国は0.56でした。

横浜市では、高齢者の方がインフルエンザ予防接種を受ける場合、接種費用の助成を行っています。

[http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/influenza/influ\\_yobou.html](http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/influenza/influ_yobou.html)

### <RSウイルス感染症>

例年冬季に流行が見られますが、今年は立ち上がり早く、第37週から増加の兆しが見られ、第47週は定点あたり1.02と過去のピーク時より高い値となりました。行政区別では磯子区(8.75)からの報告が目立ちます。今後も増加の可能性がありますので動向に注意が必要です。神奈川県(横浜、川崎を除く)は0.60、川崎市は0.45でした。全国は0.99と高い値です。

### <A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

今シーズンは過去6年間で最も高い値で推移しています。第47週は定点あたり1.44でした。行政区別では港北区(8.33)が高く、次いで緑区(3.75)、磯子区(2.25)、栄区(2.00)となっています。今後の動向に注意が必要です。神奈川県(横浜、川崎を除く)は1.63、川崎市は2.06、全国は1.79でした。

### <感染性胃腸炎>

第43週から増加の兆しが見られ、第47週の定点あたり報告数は7.33でした。流行の大きかった2006年ほどではありませんが、昨年と同じくらいの値を推移しています。今後は流行期に入っていくと思われるので動向に注意が必要です。行政区別では港北区(13.83)、戸塚区(12.17)、緑区(12.00)、港南区(10.40)、中区(10.33)が高くなっています。神奈川県(横浜、川崎を除く)は10.41、川崎市は13.76と、どちらも横浜市より高い値です。全国は6.72でした。

集団発生が小学校を中心に報告されています。手洗い、うがいの励行など、予防の啓発に努めていくことも重要と思われます。

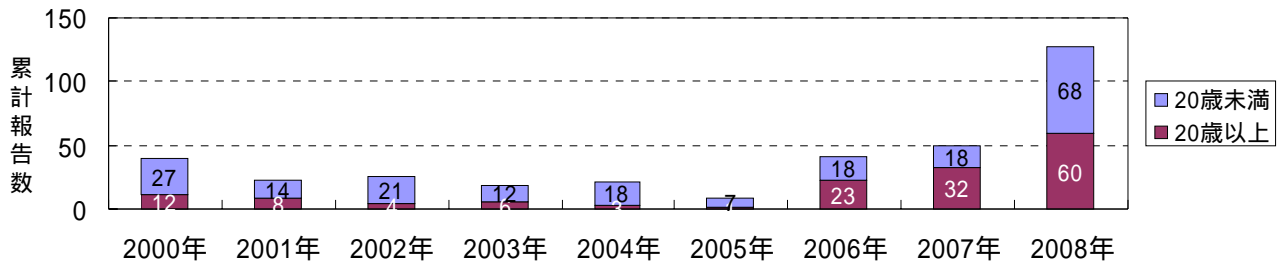
### <手足口病>

第30週に定点あたり4.06とピークを迎え、その後しばらく横ばい状態が続いていましたが、第47週は定点あたり0.72と減少しています。

### <百日咳>

第47週は3例の報告がありました。やや治まってきていますが、第45週には20例の報告がありました。港南区からの報告が多く見られます。1月からの報告数は128例となり、現時点ですでに昨年の報告数50例を大きく上回っています。成人とともに、DPT接種歴のある幼児の報告も見られており、今後注意が必要です。

百日咳の累計報告数の年別推移(2000年～2008年第47週)



### <性感染症>

性感染症は、診療科でみると産婦人科系の11定点、および泌尿器科・皮膚科系の15定点からの報告に基づき、1か月単位で集計されています。

10月は、9月に比べて全体としては横ばいです。しかし、19歳以下の若年層については、男性は性器クラミジア感染症で1例、性器ヘルペスウイルス感染症で1例、淋菌感染症で2例、女性は性器クラミジア感染症で5例、性器ヘルペスウイルス感染症で1例と、8月に引き続きやや多い傾向が続いています。

### 【病原体定点からの情報】

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:5か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:3か所、の計17か所を設定しています。検体採取は、小児科定点8か所を2グループに分け、4か所ごと毎週実施し、インフルエンザ定点は特に冬季のインフルエンザ流行時に実施しています。眼科と基幹定点は、対象疾患の患者から検体採取ができた時に随時実施しています。

### 衛生研究所から

#### <ウイルス検査>

2008年11月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点は27件(鼻咽頭ぬぐい液)、基幹定点は9件(髄液4件、咽頭ぬぐい液2件、便、直腸ぬぐい液、血清各1件)でした。患者の臨床診断名別内訳は、小児科定点は上気道炎11人、下気道炎10人、手足口病、胃腸炎各3人、基幹定点は、髄膜炎、けいれん重積各2人、脳炎疑い1人でした。

12月10日現在、小児科定点の手足口病患者3人のうち2人からコクサッキーウイルスA16型、上気道炎患者1人からアデノウイルス、基幹定点のけいれん重積患者1名の咽頭ぬぐい液と便からアデノウイルス2型、髄膜炎患者1名の髄液と直腸ぬぐい液からコクサッキーウイルスB3型が分離されています。これ以外にPCR検査では、小児科定点の手足口病患者で、ウイルスが分離されていない1名からコクサッキーウイルスA16型、また、コクサッキーウイルスA16型が分離された2名のうち1名からRSウイルスの遺伝子が検出されました。このほか、小児科定点の上気道炎患者5人と下気道炎患者6人からRSウイルス、下気道炎患者1人からインフルエンザウイルスAH3型、下気道炎患者1人からRSウイルスとインフルエンザウイルスAH3型の遺伝子が検出されています。

その他の検体は引き続き検査中です。

#### <細菌検査>

11月の感染性胃腸炎関係の受付は6菌株で病原性大腸菌が1件検出されました。

溶血性レンサ球菌咽頭炎の検体の受付は2件でA群溶血性レンサ球菌が2件検出されました。また、髄膜炎の検体1件と百日咳の検体が3件ありましたが、いずれも検出されませんでした。